



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 憲治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 八巻 唯史

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	43,204	2.3	1,639	25.7	1,989	27.2	1,113	14.4
28年3月期第3四半期	42,245	0.8	1,304	35.9	1,563	33.7	973	38.4

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 2,432百万円 (△45.1%) 28年3月期第3四半期 4,429百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	78.81	—
28年3月期第3四半期	68.08	—

(注)平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	107,514	68,334	63.6	4,833.13
28年3月期	96,191	66,571	69.2	4,714.57

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 68,334百万円 28年3月期 66,571百万円

(注)平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	58,400	1.0	2,150	6.9	2,300	2.5	1,400	2.8	99.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。

詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,325,642 株	28年3月期	15,325,642 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,186,845 株	28年3月期	1,205,201 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	14,130,006 株	28年3月期3Q	14,291,504 株

(注)自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当および業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第118期定時株主総会において、株式併合に係る議案が可決されたため、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施し、併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

(1)平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5円00銭

(2)平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 9円91銭

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
（3）追加情報	3
3．四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日~平成28年12月31日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の減速、米国新政権による政策の動向等、海外経済の不確実性は高まり、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の影響を受け、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、砂糖事業の売上が増加したこと等により、前年同期比2.3%増の43,204百万円となり、経常利益は、砂糖事業の利益が増加したこと等により、前年同期比27.2%増の1,989百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14.4%増の1,113百万円となりました。

なお、平成28年8月の台風により当社清水紙筒工場ならびに清水バイオ工場の設備、たな卸資産等が被害を受けたため、特別損失を297百万円計上しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## &lt;砂糖事業&gt;

砂糖セグメントの売上高は、海外砂糖市況の堅調な推移による販売価格の上昇により、前年同期比3.7%増の31,300百万円となり、セグメント利益は、平成28年産原料甜菜の収量の低下や品質の劣化がみられたものの、販売価格の上昇に加え、コスト低減に努め、前年同期比75.2%増の545百万円となりました。

## &lt;食品事業&gt;

食品セグメントの売上高は、オリゴ糖等機能性食品の販売数量増加等により、前年同期比1.2%増の2,014百万円となり、セグメント利益は、前年同期比7.9%増の243百万円となりました。

## &lt;飼料事業&gt;

飼料セグメントの売上高は、配合飼料の販売価格の下落により、前年同期比3.5%減の6,036百万円となりましたが、セグメント利益は、配合飼料の販売数量の増加に加え、製造コストの減少により、前年同期比66.5%増の78百万円となりました。

## &lt;農業資材事業&gt;

農業資材セグメントの売上高は、そ菜用の紙筒の売上増加等により、前年同期比4.9%増の1,907百万円となり、セグメント利益は、コスト低減等により、前年同期比223.4%増の40百万円となりました。

## &lt;不動産事業&gt;

不動産セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並の1,017百万円となり、セグメント利益はほぼ前年同期並の657百万円となりました。

## &lt;その他&gt;

その他のセグメントの売上高は、貨物輸送の減少等により、前年同期比5.4%減の929百万円となり、セグメント利益は前年同期比31.5%減の85百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比11,323百万円増の107,514百万円で、このうち流動資産は、主にその他に含まれる仮払消費税等の増加により前連結会計年度末比9,202百万円増の56,201百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比2,121百万円増の51,313百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比9,561百万円増の39,180百万円で、このうち流動負債は、主にその他に含まれる仮受消費税等の増加により前連結会計年度末比8,934百万円増の25,783百万円となり、固定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比626百万円増の13,396百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比1,762百万円増の68,334百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月11日に公表いたしました平成29年3月期連結・個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(災害損失引当金)

平成28年8月の台風により被害を受けた当社清水バイオ工場取水設備の原状回復に要する費用等に備えるため、当第3四半期連結会計期間末における当該損失見積額を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,952	4,438
受取手形及び売掛金	6,908	5,200
有価証券	7,500	10,000
商品及び製品	23,353	18,512
仕掛品	1,993	3,079
原材料及び貯蔵品	2,089	7,301
その他	1,205	7,671
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	46,999	56,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,080	10,928
その他(純額)	11,766	12,110
有形固定資産合計	22,846	23,038
無形固定資産		
	139	108
投資その他の資産		
投資有価証券	25,174	27,050
退職給付に係る資産	762	847
その他	274	276
貸倒引当金	△6	△8
投資その他の資産合計	26,204	28,165
固定資産合計	49,191	51,313
資産合計	96,191	107,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,343	2,395
短期借入金	9,798	13,300
未払法人税等	486	219
その他	5,220	9,868
流動負債合計	16,848	25,783
固定負債		
長期借入金	279	281
役員退職慰労引当金	23	10
災害損失引当金	-	199
退職給付に係る負債	4,937	4,897
その他	7,529	8,008
固定負債合計	12,770	13,396
負債合計	29,619	39,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	40,585	40,991
自己株式	△2,497	△2,459
株主資本合計	54,772	55,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,850	13,125
繰延ヘッジ損益	△3	2
退職給付に係る調整累計額	△47	△8
その他の包括利益累計額合計	11,799	13,118
純資産合計	66,571	68,334
負債純資産合計	96,191	107,514

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	42,245	43,204
売上原価	30,978	31,181
売上総利益	11,267	12,022
販売費及び一般管理費		
販売費	7,845	8,172
一般管理費	2,117	2,210
販売費及び一般管理費合計	9,962	10,383
営業利益	1,304	1,639
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	323	416
持分法による投資利益	38	35
その他	49	67
営業外収益合計	420	524
営業外費用		
支払利息	72	66
固定資産処分損	65	87
その他	23	19
営業外費用合計	161	174
経常利益	1,563	1,989
特別利益		
固定資産売却益	-	18
特別利益合計	-	18
特別損失		
固定資産処分損	42	48
災害による損失	-	297
その他	-	1
特別損失合計	42	347
税金等調整前四半期純利益	1,520	1,660
法人税等	547	546
四半期純利益	973	1,113
親会社株主に帰属する四半期純利益	973	1,113

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	973	1,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,416	1,274
繰延ヘッジ損益	△1	5
退職給付に係る調整額	41	39
その他の包括利益合計	3,456	1,319
四半期包括利益	4,429	2,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,429	2,432
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,190	1,990	6,252	1,817	1,011	41,263	982	42,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	23	9	59	85	309	5,751	6,061
計	30,322	2,013	6,262	1,877	1,097	41,572	6,734	48,306
セグメント利益 又は損失( )	311	225	47	12	650	1,246	124	1,371

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,246
「その他」の区分の利益又は損失( )	124
セグメント間取引消去	68
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,304

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,300	2,014	6,036	1,907	1,017	42,275	929	43,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	25	9	37	84	287	5,523	5,810
計	31,429	2,039	6,046	1,944	1,102	42,562	6,452	49,014
セグメント利益 又は損失( )	545	243	78	40	657	1,564	85	1,649

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,564
「その他」の区分の利益又は損失( )	85
セグメント間取引消去	9
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,639

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は、軽微であります。